

## 基本プロジェクト 1： しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用】

### 第 1 節：産業

#### 基本施策 1 次代につながる農林畜産業を振興する

##### 【平戸市のいま】

- 農家数は高齢化の進行にともなう離農や農業後継者の不足により減少傾向にあり、農村集落の機能が低下しています。
- 一方では、本市農業をけん引する認定農業者や、少ないながらも毎年新たに就農する若い担い手が、強い意欲を持って経営規模拡大や新規品目の栽培に取り組んでいます。



##### 【平戸市の未来】

若い農業者による先進的な農業経営や大規模農業経営体が創出され、農村集落が活性化されています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策 1 意欲のある担い手を確保・育成する

生産組織や地域などと連携した新規就農者育成体制を構築し、地域の担い手を育成します。また、高齢化等による労力不足を解消するため、集落営農組織の設立や労力支援システムの構築を推進し、地域農業の体質強化、農村の安定的な発展を図ります。

##### <主な取り組み>

- ①新規就農者の確保・育成
- ②認定農業者等の育成強化
- ③集落営農組織の育成・労力支援システムの構築

## 施策 2 もうかる農業を実現する

平戸式もうかる農業実現支援事業により繁殖牛の増頭対策に取り組んだ結果、平成 29 年度は飼養頭数が増加に転じる等事業効果がみられました。引き続き、平戸牛の産地力強化のため、繁殖牛及び肥育牛の増頭対策に取り組めます。また、水田フル活用による園芸品目の規模拡大、菌床しいたけの生産安定化、新規品目の導入や省力化対策による規模拡大を支援し、農業所得の向上を図ります。

### <主な取り組み>

- ①肉用牛の生産振興
- ②園芸・特用林産物の生産振興
- ③水田フル活用の推進
- ④新規品目の推進

## 施策 3 有害鳥獣対策を強化する

イノシシ等の有害鳥獣による農作物被害を減らすため、侵入防護柵や捕獲用箱罠などの被害防止対策を強化するとともに、「まちなか」における市街地での被害防止対策に取り組めます。

### <主な取り組み>

- ①有害鳥獣捕獲の強化
- ②鳥獣被害防護柵の整備
- ③市街地対策の推進

## 施策 4 生産基盤を整備する

農業・農村の有する多面的機能の維持を図るための活動を支援するとともに、ほ場や農道等農業基盤の整備を推進することで、担い手への農地集積と集約化を図ります。森林の持つ多面的な機能を維持するため、計画的に間伐・主伐を行います。また、市内に豊富に存在する森林資源や廃菌床・廃ホダ木を活用した木質バイオマスエネルギーの利用推進を図ります。

### <主な取り組み>

- ①ほ場や農道など農業基盤の総合的な整備
- ②農業・農村の有する多面的機能の維持
- ③担い手への農地の集積と集約化
- ④健全な森林資源の維持増進と利用推進

## みんなにできること

産地である地域が一体となって農業の担い手の確保・育成に努め、地域農業の課題解決に向けて積極的に取り組みましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
新規就農者数	人／年	8	4	4
主要農林畜産物販売額	億円／年	51	51	51
繁殖雌牛の平均飼養頭数	頭／戸	8.4	10	12.5

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
地域の特性を活かした農林業の振興に関すること	%	43.7	47.0	50.0

写真等

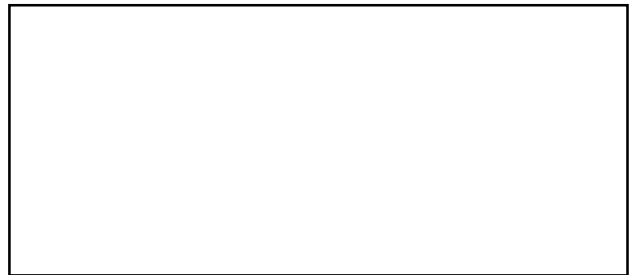
## 基本プロジェクト 1： しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用】

### 第 1 節：産業

#### 基本施策 1 持続可能な水産業を確立する

##### 【平戸市のいま】

- 地球規模での気候変動と漁場環境の変化に伴う水産資源の減少と漁獲変動により、水揚の維持・安定が困難になっています。
- 一方、生鮮魚介類に関する流通販売経路の多様化や需要の変化に伴い、販売価格の維持が難しくなっています。



##### 【平戸市の未来】

高品質な水産物の産地として広く認知され、若手漁業者も安定した収入が得られ、水産業が生業として確立しています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策 1 漁場環境の維持保全及び漁業生産の安定化を図る

地域重要資源と位置付けた魚種の生産を維持するため、効果的な栽培漁業や資源管理への取り組みを強化します。また、国・県と連携した沿岸域における磯焼け対策を継続し、藻場の回復に努めます。

養殖業においては、赤潮対策として、海水のモニタリング体制を堅持するとともに、漁場環境改善に取り組み、養殖魚の安定的な生産体制を維持します。

##### 〈主な取り組み〉

- ①資源管理型漁業の推進
- ②藻場回復への取り組み
- ③赤潮対策（モニタリング・漁場環境改善）

## 施策2 戦略的な流通・販売体制を構築する

新たな急速冷凍技術などを活用した高鮮度流通対策を推進し、漁業所得の向上を目指します。また、鮮度保持や衛生管理の徹底による高品質化を図るとともに、戦略的な流通・販売体制を構築します。

〈主な取り組み〉

- ①新たな技術を活用した高鮮度流通対策の推進
- ②市内の漁協連携による戦略的流通販売体制の構築
- ③漁協直営による直売事業の強化

## 施策3 漁業後継者対策及び漁協経営の安定化を図る

漁業担い手対策として、市内の漁業後継者（漁家子弟）が新たに経営を独立する際などに支援を行います。また、安定した漁協経営を維持するため、漁協職員の人材確保・育成や共同利用施設の集約化・長寿命化対策を支援します。

〈主な取り組み〉

- ①新規就業者対策の推進
- ②漁協職員の人材確保・育成に対する支援
- ③漁協共同利用施設の集約化・長寿命化に対する支援

## 施策4 漁業活動拠点（漁港）の再編・機能向上及び漁村の魅力向上を図る

漁業活動の拠点である漁港について、機能分担を明確化するとともに、国の事業を活用した機能向上対策や老朽化対策を実施します。また、漁港水域の有効活用を図るため、水産物の新たな増養殖等の取り組みを支援します。

〈主な取り組み〉

- ①漁港の再編と拠点漁港の機能強化
- ②漁港施設の防災対策及び老朽化対策の推進
- ③漁港水域の有効活用

**みんなにできること**

沿岸域の環境保全に関心を持ち、地元産の魚介類を積極的に消費しましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
沿岸漁業における新規就業者数	人／年	4	8	8
水産物の総販売高	億円／年	55	55	55

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
豊かな資源を活かした水産業の振興	%	51.1	53.0	55.0
漁港の整備	%	72.4	75.0	80.0

写真等

## 基本プロジェクト1： しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用】

### 第1節：産業

#### 基本施策3 活力のある商工業の振興を図る

##### 【平戸市のいま】

○産業構造の割合は、工業は製造業、建設業が中心となっており、商業は卸売業、小売業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉業が中心とした構成となっています。また、そのほとんどが中小企業者及び小規模事業者であり、今後、少子高齢化や若年層の流出により、人口減少が進む予測の中で、雇用者の確保、人材育成、及び後継者対策が重要な課題となっています。

○地域経済や雇用を支える中小企業を育成・振興するため、商工団体や金融機関等と連携し、設備投資補助支援や融資制度の斡旋を行い、足腰の強い中小企業の育成を図っています。

○人口減少による地元購買力の低下や大型量販店の進出による商店街の賑わいの衰退、景気低迷に伴う購買力の低下がみられることから、大型量販店にない商店街の魅力アップや各店の魅力アップに努めています。

##### 【平戸市の未来】

にぎわいのある商工業が育成されています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 商工業の経済基盤の強化を図る

地場の市内中小企業者の育成支援を図るため、商工団体及び金融機関等と連携した中小企業者の支援を行うとともに、関係団体と連携した経営基盤の強化を促進します。

##### 〈主な取り組み〉

- ①中小企業振興資金制度による支援
- ②中小企業設備投資補助制度による支援
- ③商工会議所・商工会等との連携強化
- ④経営診断、経営指導の充実

## 施策2 人材確保・人材育成を支援する

地域経済の中心を担う地場企業や誘致企業における人材育成や雇用確保における取り組みの支援を行います。

### <主な取り組み>

- ①ハローワークと連携した雇用者確保の支援
- ②人材育成に伴うセミナーの開催
- ③人材育成補助制度による支援
- ④地元高校生を対象とした地場企業見学会の開催

## 施策3 魅力ある商店街の育成

市内商店街の振興支援を図るため、商工団体等と連携した商店街の育成支援を行うとともに、イベント等を実施し、商店街の魅力アップを図ります。

### <主な取り組み>

- ①商店街魅力アップ事業の推進
- ②商店街振興イベントの実施
- ③国、県等の支援制度の情報提供

みんなにできること

衣食住など生活に必要なものは全て市内で購入し、市内消費に努めましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年 度)	目標値 (平成 39 年 度)
卸売・小売商品販売額	億円	316	306	297
製造品出荷額	億円	83	85	87
市内事業所従事者数(経済センサス)	人	10,918	11,034	11,020
ハローワークを通じた新規就職者数	人	438	430	480
製造業における市内事業所数(工業統計)	人	65	71	76
年平均平戸市有効求人倍率	倍	1.19	1.10	1.15
高校新卒者の地元就職者数(年間)	人	14	15	15
空き店舗等を活用した新規開業件数	件	6	24	39



### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年 度)	目標値 (平成 39 年 度)
買い物、飲食が楽しめる商業施設の整備に関する事	%	24.4	30.4	35.4

写真等

## 基本プロジェクト 1： しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用】

### 第 1 節：産業

#### 基本施策 3 ブランド化事業により、平戸製品の販路を拡大する

##### 【平戸市のいま】

○平戸ブランド化推進事業により、首都圏をはじめ関西圏、福岡都市圏等において、平戸製品の販路・取引拡大を図るため、平戸産品を「知る」「味わう」「購入できる」拠点創出に取り組んでいます。首都圏の人気スポットへの本市単独のアンテナショップを開設により、知名度向上だけでなくブランド力の向上と取引拡大へとつながっています。また、継続した直

売所での小売に合わせ、本市の産品を総合的に活用したアンテナ公認飲食店展開から外食産業への新たな物流体系を模索しつつあり、首都圏に広く波及することが期待できます。関西圏、福岡都市圏においても、例年開催の物産展に加え集客力の高いエリアにおいて観光物産展の開催や平戸産品を活用した飲食店の新規オープン等、平戸のPRを図り新規取引へとつながりが広がっています。

○課題としては、日本の最北西端に位置する平戸として流通の課題があり、高品質を維持するための配送時間短縮、コスト削減、鮮度保持方法など課題があります。また、都市圏での消費者ニーズにマッチした平戸産品の商品開発などへの対応もあります。

##### 【平戸市の未来】

平戸産品を軸としたブランド化事業の推進により、全国的に「平戸」の認知度が向上されています。

## 【未来を実現させるためにできること】

### 施策1 平戸製品の認知度を向上させる

首都圏、関西圏、福岡都市圏において飲食店等外食産業との連携、直売所、百貨店等販売拠点の創出により、平戸産品を「知る」「味わう」「購入できる」機会創出することで、平戸産品の認知度向上へと繋がります。また、観光との連携による観光物産展の開催等により平戸産品だけでなく、平戸そのものを知っていただく取り組みも展開していきます。

#### <主な取り組み>

- ① 平戸産品外食産業の連携創出
- ② 平戸産品販売拠点の創出
- ③ 平戸産品観光連携プロモーションの推進

### 施策2 特産品を販路拡大する

首都圏・関西圏における大手百貨店や飲食店での産品取引拡大を図るとともに、観光課と連携のもと平戸観光PRを行い、平戸の認知度向上を目指します。

#### <主な取り組み>

- ① 首都圏アンテナ飲食店との連携
- ② 首都圏百貨店との連携
- ③ 観光連携物産展の開催
- ④ アンテナ居酒屋の支援
- ⑤ 海外物産展開の推進

## みんなにできること

平戸産品が全国に誇れるものであることを認知し、地元でももっと消費しましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
新特産品開発数	品	61	91	116
取引店舗数	店舗	53	83	108

写真等

## 基本プロジェクト 1： しごとをひろげるプロジェクト【産業、雇用】

### 第 2 節：雇用

#### 基本施策 1 新たなビジネス産業を構築する

##### 【平戸市のいま】

○本市では交通・通信インフラ整備が遅れていましたが、西九州自動車道の延伸や光通信ネットワークの整備が進み、企業誘致を推進する条件や新たな産業へ取り組む条件が整いつつあります。また、本市の人口減少を抑制するためにも、移住・定住やU・Iターンを積極的に推進する必要があり、そのためにも雇用の場の確保を図る必要があり、企業誘致の取り組みが必要です。



##### 【平戸市の未来】

若者、高齢者や女性など全ての市民に雇用機会が拡大しています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策 1 企業誘致を推進する

これまで自動車関連の製造業をメインターゲットとして誘致活動を行ってきましたが、今後は加えて先端的な新事業分野として、医療関連産業やIT企業のほか、ロボット産業や精密機械産業などのハイテク産業、食品産業の高付加価値化なども誘致企業の対象として拡充し、関係機関と連携して取り組みます。

##### 〈主な取り組み〉

- ①企業誘致営業訪問活動の強化
- ②企業誘致支援制度による支援
- ③トップセールスの実施
- ④長崎県産業振興財団等との連携強化

## 施策2 地域資源を活かした創業支援を推進する

本市の基幹産業とマッチした事業の支援を図るとともに、本市で新たに創業したい人に対する支援を行います。また、地域資源を活用した新商品・新サービスの開発等に取り組む企業や農林漁業者等を支援し、新たな産業の創出を図ります。

<主な取り組み>

- ①創業セミナー・個別相談会の開催（知識修得の場の提供）
- ②創業支援補助・資金制度による支援
- ③6次産業化のための新商品開発支援

### みんなにできること

新たなビジネスに関心を持ち、企業宣伝や商品購入で企業を応援し、平戸市経済を盛り上げましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年 度)	目標値 (平成 39 年 度)
企業立地数	社	-	2	2
立地企業等による新規就業者数	人	149	280	480
年間創業者数	人	14	84	154
6次産業化における支援者数	件	1	13	23

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年 度)	目標値 (平成 39 年 度)
企業誘致や雇用対策、就業環境	%	13.5	20.0	25.0

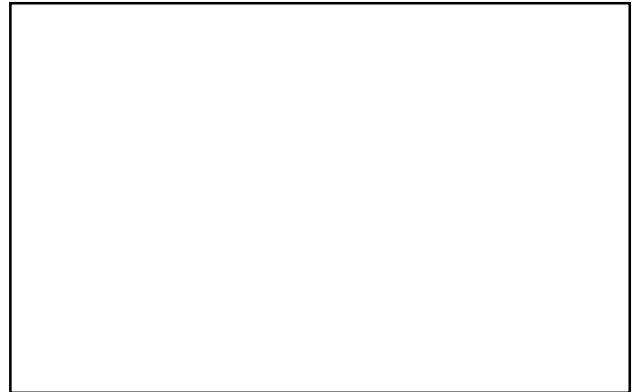
## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第1節：観光

#### 基本施策1 DMOを推進する

##### 【平戸市のいま】

○これまでの本市の観光は行政主体による施策が中心であり、多様な観光ニーズに対応できていない状況です。一方、施策展開の主体となるべき観光協会は、行政からの補助金や委託料などに依存している現状となっています。これからは、独創的な観光事業をつくり出し自ら稼ぐことができる組織が求められており、専門性を持った職員の配置や地域内の連携強化が必要となっています。



##### 【平戸市の未来】

観光に携わる事業者や団体のお互いの良さが活かされた観光連携ができています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 実行力のある組織づくりを推進する

魅力的な観光地づくりのために、地域が一体となる取組の推進や来訪する観光客のデータ収集分析、タイムリーな情報発信を進めるために、平戸版DMOを組織化していきます。また、観光リーダーの育成及び平戸観光応援隊の充実を図ることで、多様な人材をつくっていきます。

<主な取り組み>

- ① 平戸版DMOの組織化
- ② 観光エキスパートの育成
- ③ 平戸観光応援隊の充実
- ④ 大学連携による多様な人材の確保
- ⑤ 観光の一元化
- ⑥ 観光データの収集・分析

## 施策2 広域連携を推進する

西九州自動車道の延伸により、福岡・佐世保方面からのアクセスが容易になることから、世界遺産をはじめ、食や温泉、さらには自然・歴史を活かした広域連携を行うことで、交流人口の拡大を図ります。

### <主な取り組み>

- ① 世界遺産登録による観光ルート形成
- ② 西九州北部地域連携中枢都市圏による連携
- ③ 多様なニーズにあわせた広域観光の推進

### みんなにできること

観光事業者や観光の団体をみんなで応援しましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
入込み観光客数	人	1,707,274	1,965,000	1,855,000



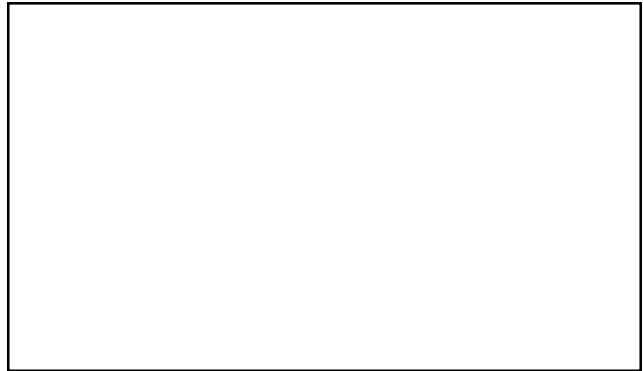
## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第1節：観光

#### 基本施策2 おもてなしの観光地づくりを推進する

##### 【平戸市のいま】

○観光客へのヒアリングでは、施設の老朽化、不十分な清掃、接客の向上等の声があり、市全体のおもてなし力が不足しているのが現状です。今後は、施設の改修・改善、自然景観の維持、トイレの清掃等、市全体でのおもてなし力が求められています。



##### 【平戸市の未来】

来訪者の満足度が高く、何度も訪れたい観光地になっています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 旅まえ・旅なか・旅あとのおもてなし体制を充実する

「おもてなしの観光地づくり」を地域と一体となって推進するため、観光ルート案内のほか、観光スポットの雑木伐採等の環境美化等の推進に取り組みます。さらに総合的におもてなし体制を充実します。

##### 〈主な取り組み〉

- ①観光ルートの案内の充実
- ②環境・自然景観の維持形成
- ③観光コンシェルジュの育成
- ④市民参画の推進

## 施策2 ユニバーサルツーリズム観光を推進する

グローバル化はもちろんのこと、障がい者などあらゆる観光客に対応することが可能なポテンシャルの高い観光地づくりを推進します。

<主な取り組み>

- ①バリアフリー化等の推進
- ②観光弱者向けのインフォメーションの充実
- ③受け入れ体制の拡充
- ④ストレスフリーの観光ルートづくり

### みんなにできること

市民一人ひとりができることから実行し、おもてなしの心で観光客を迎えましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
ボランティアガイド数	人	59	60	60

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
行事や各種イベントの開催に関すること	%	60.5	63.5	66.0

写真等

## 基本プロジェクト 5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第 1 節：観光

#### 基本施策 3 五感型観光を推進する

##### 【平戸市のいま】

○本市を訪れる観光客の満足度は、魅力ある観光資源や第一次産業などを体験することで向上していますが、一方で、多様な利活用に対する理解は不足している現状にあります。これからの観光は、あらゆる資源を活かし、より五感で体感できる「本物志向」が求められており、それを伝える人材や組織づくりなどが必要となっています。



##### 【平戸市の未来】

活気があふれ、ロングステイの観光地平戸となっています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策 1 テーマ観光を推進する

単なる体験から、本市の全ての観光素材を活用した体感型観光に取り組み、もう一度行きたくなる観光地を目指します。

##### 〈主な取り組み〉

- ①海・山・歴を活用したアクティビティなどの充実
- ②観光施設のリニューアル化
- ③観光ガイドの育成
- ④体感型観光イベントの創出
- ⑤世界遺産を活かした観光ルートの形成

## 施策2 滞在型観光地を推進する

本市の豊かな自然と食、温泉を生かした非日常の空間が味わえるまちの演出を行うとともに、市内の知られていない地域資源や新たな魅力を発掘することで、観光客のリピーター率の向上を図り、定住人口の拡大につなげていきます。

<主な取り組み>

- ①自然環境・景観の維持形成
- ②泊食分離の推進
- ③観光資源などを活用した民泊の拡充
- ④安心安全な観光地基盤づくりの推進

## 施策3 そこそこ観光を脱却する

十分に生かしきれていない本市独自の観光素材を積極的に活用し、他の観光地にはない魅力を高めていきます。また、観光関連業者が観光素材を有効に活用できる環境を整えます。

<主な取り組み>

- ①観光客に選ばれる観光地づくり旅行商品の創出
- ②日本一、日本初事業の創出
- ③観光関連事業者のスキルアップの推進

みんなにできること

市民一人ひとりも観光のイベントに参加し、積極的に観光に携わりましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
体験型観光客数(民泊体験含む)	人	8,914	16,000	15,000
観光施設入場者数	人	162,850	200,000	<u>220,000</u>

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
地域の資源を活かした観光の振興	%	42.9	50.0	60.0

## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第1節：観光

#### 基本施策4 観光誘客プロモーションを強化する

##### 【平戸市のいま】

○本市の観光情報を入手する手段として、スマートフォンなどを活用する観光客が増えており、ICT を活用し PR していくことが必要となっています。また、市内の観光関連事業者の中には、ホームページを持たない事業者も多く、今後、外国人観光客が増加していく中で、Wi-Fi 環境などを整備していかなければならない状況となっています。さらに、世界遺産候補地への関心や若年層世代での認知度が低いことから、効果的なプロモーションを展開することが必要です。



##### 【平戸市の未来】

グローバルで多様な観光情報が容易に入手できる観光地となっています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 ICT環境を整備する

観光客の利便性を向上させるため、ICT環境の整備を進めるとともに、他の観光地にはない魅力的なコンテンツの提供を目指します。

<主な取り組み>

- ① 観光ツール等の電子書籍化
- ② ICT環境整備（Wi-Fi等）
- ③ VR観光の推進
- ④ 多言語HPの推進

## 施策2 効果的なプロモーションを展開する

国内外に本市の魅力余すことなく伝え、本市を訪れるきっかけとなるような情報提供に努めます。また、東京オリンピックが2020年に開催されることから、開催時期にあわせ、首都圏を中心に観光情報の発信を行い、観光誘客をすすめます。

〈主な取り組み〉

- ① 首都圏等を中心にしたプロモーションの展開
- ② ソーシャルメディアを活用したPR（口コミなど）
- ③ 平戸発の情報発信（ストーリー・共感・話題）
- ④ 多言語による情報発信の推進

みんなにできること

平戸観光の魅力を、SNSでアピールしましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
宿泊客数	人	211,837	310,000	270,000
日帰り客数	人	1,389,517	1,500,000	1,450,000
平戸HP(ほっこり平戸)アクセス数	人	202,762	250,000	300,000
平戸観光協会HP	人	1,581,451	2,500,000	3,000,000

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)

## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第1節：観光

#### 基本施策5 外国人観光客を誘客する

##### 【平戸市のいま】

○現在、本市を訪れる観光客は日本人が大半を占めていますが、人口減少や国内旅行から海外旅行へのシフト等に伴い、国内での日本人観光客の誘客競争の激化が始まっています。今後は、外国人観光客の誘客が必要となっていますが、無線LAN環境の整備、ホームページの多言語化、宿泊施設の老朽化による施設改修、海外での情報発信、語学力のある人材の育成のほか、交通アクセスの改善等が求められています。

##### 【平戸市の未来】

国外の観光客にとっても魅力ある観光地となっています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 外国人観光客誘客対策を推進する

近年、東アジアを中心に外国人観光客が増加しており、今後は世界遺産登録や東京オリンピック等により、さらに外国人観光客が増加することが見込まれています。このことから、外国人観光客の誘致を積極的に推進するため、海外での情報発信のほか、オリンピックを活用した誘客対策等に取り組みます。

##### <主な取り組み>

- ①海外に向けての情報発信の強化
- ②広域連携によるオリンピックを活用した誘客対策

## 施策2 外国人観光客受入環境整備を推進する

外国人観光客の誘客を推進するため、外国人のニーズに合った受入環境の整備が必要となっています。このことから、無線 LAN 環境の整備、ホームページの多言語化、誘導案内板の整備等のほか、留学生インターンシップの活用など、語学力のある人材の活用に取り組みます。

<主な取り組み>

- ①外国人観光客受入環境の整備
- ②留学生インターンシップ等の活用

みんなにできること

外国人観光客を見かけたら、おもてなしの心をもって積極的にサポートしましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
外国人宿泊客数	人	16,292	28,000	45,000

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)

写真等



## 基本プロジェクト 5 :

### たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

#### 第 1 節：観光

##### 基本施策 6 歴史を活かし地域間交流・国際交流を促進する

#### 【平戸市のいま】

○本市は、古くから国内外との交流が盛んに行われた歴史的な史実を基にし、昭和 60 年には、空海上人のご縁により香川県善通寺市との姉妹都市提携、平成 14 年には、地域の特性を活かした交流として、北海道枝幸町と交流協定を締結し、相互訪問により交流を深めてきました。またその他の交流都市を含め、人的交流を中心に秋まつりなどイベントに相互出展し物産交流を続けています。

○国外との交流では、平成 7 年にアジアの英雄である鄭成功ゆかりの地である中国南安市との友好都市締結、平成 25 年には、平戸市民・台南市交流促進協定を締結し、平成 23 年には平戸オランダ商館復元を契機にオランダ王国ノールトワイケルハウト市との姉妹都市締結を行い、高校生短期留学など相互訪問により交流を深めてきました。今後さらに、交流を深め、互いの文化を尊重し継続的な地域間交流、国際交流を促進していくことが求められます。

#### 【平戸市の未来】

さまざまな地域と交流することによって、お互いの地域の知識や理解が深まっています。

#### 【未来を実現させるためにできること】

##### 施策 1 市民の地域間交流を推進する

市民が、交流都市を訪問することや受入することにより、相互理解を深めることができるよう支援するとともに、地域間交流を促進し、ふるさとの魅力を発信します。

##### 〈主な取り組み〉

- ①地域間交流の促進
- ②相互理解を深めるための情報発信の推進

## 施策2 ふるさとの歴史から国際意識を醸成する

国際交流を通じて異文化体験することによって、国際的な視野を広げるよう交流事業に取り組みます。市民レベルでの国際交流を促進するため、多様な交流活動を行う団体への支援を図ります。

〈主な取り組み〉

- ①国際交流の促進
- ②国際交流員によるワークショップ
- ③相互理解を深めるための情報発信の推進

みんなにできること

積極的にふるさとの歴史や文化への理解を深めましょう。

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
地域間交流の推進	%	47.0	50.0	55.0
国際交流の推進など国際化への対応に関すること	%	50.7	55.0	60.0

## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第2節：文化

#### 基本施策1 歴史・伝統文化を保存・継承・活用する

##### 【平戸市のいま】

○本市には、先人たちが守ってきた豊かな自然に加えて、原始・古代から中国・朝鮮半島とのつながりや大航海時代のヨーロッパ諸国との交流を示す史跡など、数多くの歴史的遺産が存在しています。また、世代を重ねて伝えられた祭り・行事、風俗・習慣・民俗芸能など多彩な文化的資源を有しています。

○今後も、これらの本市の特長である豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化等を大切に、市民の郷土愛を醸成していくため、市民と行政が一体となって、これら貴重な資源の保存・継承・活用に努めることが重要です。

##### 【平戸市の未来】

豊かな自然や歴史文化遺産、伝統文化等を大切に、市民の郷土愛が育まれています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 『平戸学』を推進する

平戸固有の歴史文化を調査研究し、その成果を歴史講座等で市民が学ぶことができるよう、市民参加型の学習機会を提供することにより、平戸学の普及を図ります。

〈主な取り組み〉

- ①歴史文化、埋蔵文化財等の調査研究
- ②歴史講座の実施
- ③平戸学の普及振興
- ④地域住民参加型学習の推進

## 施策2 文化遺産の保存と継承を推進する

貴重な歴史文化遺産、伝統文化等を大切にし、市民の郷土愛やコミュニティ意識を醸成していくため、市民と行政が一体となって、これら貴重な資源の保存と継承に努めます。

<主な取り組み>

- ①史跡や名勝等の保存・継承
- ②民俗文化財の保存・継承と後継者の育成
- ③伝統的建造物群や文化的景観の保存保護
- ④自然・歴史・伝統文化等の記録保存
- ⑤博物館、資料館などの施設の充実

## 施策3 文化遺産を活用する

地域に存在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉え、文化財をその周辺環境まで含めて、総合的に保存・活用し、情報発信します。

<主な取り組み>

- ①歴史文化基本構想に沿った文化財の保全活用
- ②世界遺産構成資産の保全活用
- ③ガイダンス機能の充実
- ④文化観光ガイドの育成
- ⑤文化財を訪れる来訪者への秩序ある公開の推進

みんなにできること

行政と一体となって、貴重な文化資源の保存・継承・活用に努めましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年 度)	目標値 (平成 39 年 度)
文化財の指定数	件	213	218	223

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成 28 年度)	前期目標値 (平成 34 年度)	目標値 (平成 39 年度)
地域の文化・伝統の継承、保存への取り組み	%	62.1	65.0	67.0

## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第2節：文化

#### 基本施策2 芸術文化活動を推進する

##### 【平戸市のいま】

○ゆとりや潤いなど、精神的な充足を求める傾向が強まり、芸術・文化に対する関心が高まっています。本市での文化活動は、文化協会を中心に、音楽、文芸、歴史研究などのグループが、相互に連携を保ちながら自主的な活動を展開し、市民文化の向上に努めています。

○今後は、市民の文化活動の質を高め、成果発表への意欲を後押しするため、優れた芸術に触れる機会の提供が求められています。



##### 【平戸市の未来】

優れた芸術に触れる機会が増え、市民の文化活動の質や成果発表への意欲が高まっています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 市民文化活動を支援する

市民が取り組んでいる文化活動を支援し、成果発表や作品展示の機会を提供することにより、市民が文化活動に積極的に参加できる環境をつくれます。

〈主な取り組み〉

- ①市民文化活動の支援
- ②活動団体のネットワーク拡大
- ③活動状況の情報発信

## 施策2 優れた芸術に触れる機会を提供する

優れた芸術や作品に触れる機会を提供し、市民の文化芸術に対する意欲を高めるとともに、心の豊かさを培うことにより、質の高い文化活動を支援します。

### <主な取り組み>

- ①優れた芸術に触れる機会の提供
- ②人材の発掘と継続的な育成
- ③地元出身や縁のある芸術家の出演機会の提供

### みんなにできること

音楽、文芸、歴史研究など自主的なグループ活動を展開し、相互連携して文化の向上に努めましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
文化公演開催数	回	8	9	10

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
文化活動・芸術活動への取り組み	%	—	60.0	65.0

写真等

## 基本プロジェクト5： たからをみせるプロジェクト【観光、文化、シティプロモーション】

### 第1節：シティプロモーション

#### 基本施策1 平戸市の魅力を広く発信し、認知度を高める

##### 【平戸市のいま】

○人口減少や少子高齢化の進行により、地域を支える人材や地域経済の低下が懸念されるなか、本市が持続的な発展を遂げていくには、地域の魅力や認知度を高める必要があります。また、平戸市にずっと住み続けたいという市民を増やすとともに、交流人口等の拡大による地域や地場産業の活性化が求められています。



○本市がこれまで取り組んできた施策や、これから重点的に取り組む施策を体系的に情報発信するため、市民と行政、民間が一体となって全国の方々に平戸市の魅力を知ってもらうための取り組みを行う必要があります。

##### 【平戸市の未来】

平戸市の魅力と認知度が高まり、定住・移住や交流人口などの拡大によってまちが活性化しています。

##### 【未来を実現させるためにできること】

#### 施策1 郷土愛を醸成する

市民一人ひとりが情報発信者となり、全国の方々に本市の魅力を知ってもらうためには、まずは平戸市民自らが「平戸ファン」になる必要があります。市民がこの地域への誇りや愛着を高め、「ずっと住み続けたい」、「いつか帰りたい」と思えるような取り組みを進めます。

##### <主な取り組み>

- ①魅力ある地域資源の掘り起こし及び体系化
- ②教育機関と連携した子どもたちの地元愛着度の向上
- ③総合計画・総合戦略の進捗管理と市民満足度の把握

## 施策2 選ばれるためのシティプロモーションを展開する

本市は、特色のある観光、文化、自然、特産品などの資源を多く有しています。これらの宝を包括的かつ効果的に発信し、「平戸ファン」をより多く獲得することにより、観光客、移住等の交流人口増につなげていきます。また、それぞれの宝を連携させ、新たな価値を生み出すよう各分野との連携を図ります。

### <主な取り組み>

- ①ソーシャルネットワークサービスやメディア等を活用した魅力発信
- ②ふるさと納税推進による認知度向上
- ③市民・行政・民間一体となったPR活動の推進

### みんなにできること

シビックプライドを醸成し、一人ひとりが地域の魅力を発信しましょう。

### 【やるばい指標（成果指標）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
平戸市公式フェイスブックフォロワー数	人	2,229	5,000	7,500

### 【市民の満足度（市民アンケートから）】

指標の名称	単位	現況値 (平成28年度)	前期目標値 (平成34年度)	目標値 (平成39年度)
シティプロモーションに対する取り組み	%	-	50.0	60.0

写真等